

令和5年4-6月期調査

「経営上の問題点を解決するための要望など」

【製造業】

- 弊社は2020年6月創業の会社ですが、創業時及び2022年度中に受けた融資の返済負担が重いです。2023年4月からはコロナの影響が弱まりましたが、消費者の消費意欲は急に高まるわけではないので、売上が急増しているわけでもありません。売上急増が見込めない状況で返済を続けていけるか不安があり、借り換えなどが容易な仕組が充実していると助かります。

【建設業】

- 回答なし。

【卸売業】

- 回答なし。

【小売業】

- 景気の回復が見込めない。
- 人手不足で採用をしたところ、事務職は採用できたが販売職は採用できなかった。採用条件も考慮して採用を計りたいがコストが高つくのが課題。
- 昨年の7月に盗難被害に遭い、店舗の補強を強いられていますがその為のような補助金があればよい。

【サービス業】

- 少しずつお客様の来店も増え売上も上がってきていますが、元通りにとはなかなかです。光熱費の値上がりもあり、不安で一杯です。

令和5年4-6月期調査 「業界の課題として感じていること」

【製造業】

- 弊社はクラフトビール製造、販売、及び直営の飲食店を運営しております。コロナが与えた影響は大きく、去年は売上が下がり危機的状況でした。そのような中でも、酒税や自動車税、固定資産税、社会保険の企業負担は変わらずでした。酒にまつわる業界全体が影響をうける場合に出来ることが少ないことは課題だと思いました。

【建設業】

- 回答なし。

【卸売業】

- 運送コストが仕入単価に影響して最終的に商品単価の値上げになっている。石油製品の値上げラッシュは治まりつつある中で流通コストが次の大きな課題であると感じております。

【小売業】

- 時計、宝石業界が被害に遭いやすいので全国の商工会議所としてはどのように考えているのか。対応、対策に困っています。

【サービス業】

- これからどうなっていくか不安です。

